

本時の目標

これから学習していく帝国主義について、単元を通じて追究する問いを表現し仮説を立て、見通しを持って学習に取り組むことが出来るようにする。

本時の Goal

資料の読み取りをもとに、これから学習する帝国主義について、単元を通じて追究する問いを表現し、その問いに対する仮説を立てる。

《課題①》

単元の学習を始める前の現時点で、あなたにとって「帝国主義」とは何ですか？

《課題②》

資料①～④は、帝国主義の時代について表した資料である。資料を読み取り、気になるところや疑問に感じたところを挙げてみよう。

資料	気になるところや疑問に感じたところ
【資料①】	
【資料②】	
【資料③】	
【資料④】	

※大事になるのは、次の課題3で問いを作ることです。

ここでは気になるところや疑問に感じたところをできる限りたくさん出す。質より量を重視！

《課題3》

step 1

課題②を通じて、気になったことや疑問に思ったこと、導入で用いた【資料A】～【資料C】で気になったことや疑問に思ったことをもとにして、思いつく限り問いを作ってみよう。

※複数の資料を組み合わせて疑問に感じたことを問いにしてもOK!

step 2

複数ある問いの中から、単元を通じて追究する問いとしてふさわしい問いを練り上げ、一つの問いを作り上げよう。

point : 「単元を通じて追究する問い」を練り上げるときの方向性

- ① 「はい」、「いいえ」、もしくは短い言葉で答えられるような閉じた問いではなく、説明が必要で、「はい」、「いいえ」、もしくは短い言葉で答えられないような開かれた問いを作る。
- ② 単元を通じて追究するにふさわしい、しっかりと考えなければ答えにたどり着けないような問いを作る。

[評価基準]

- A…複数の資料を組み合わせ、学習課題を私事として今日の事象と関連付けながら、しっかりと考えなければ答えにたどり着けないような問いを立てている。
- B…複数の資料を組み合わせ、しっかりと考えなければ答えにたどり着けないような、問いを立てている。
- C…単一の資料から、簡単な問いを立てている。

単元を通じて追究する問い

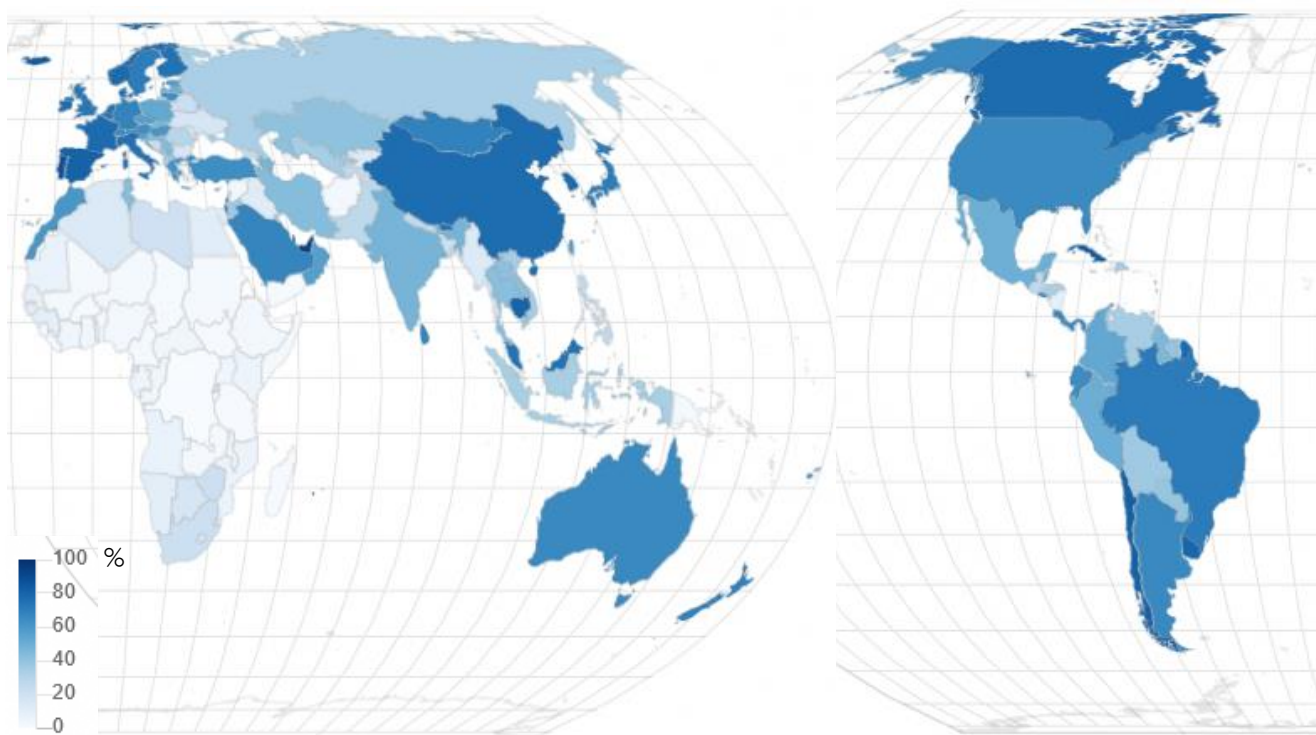
《課題4》

課題③-step 2で立てた問いに対する現時点での仮説を記入してみよう

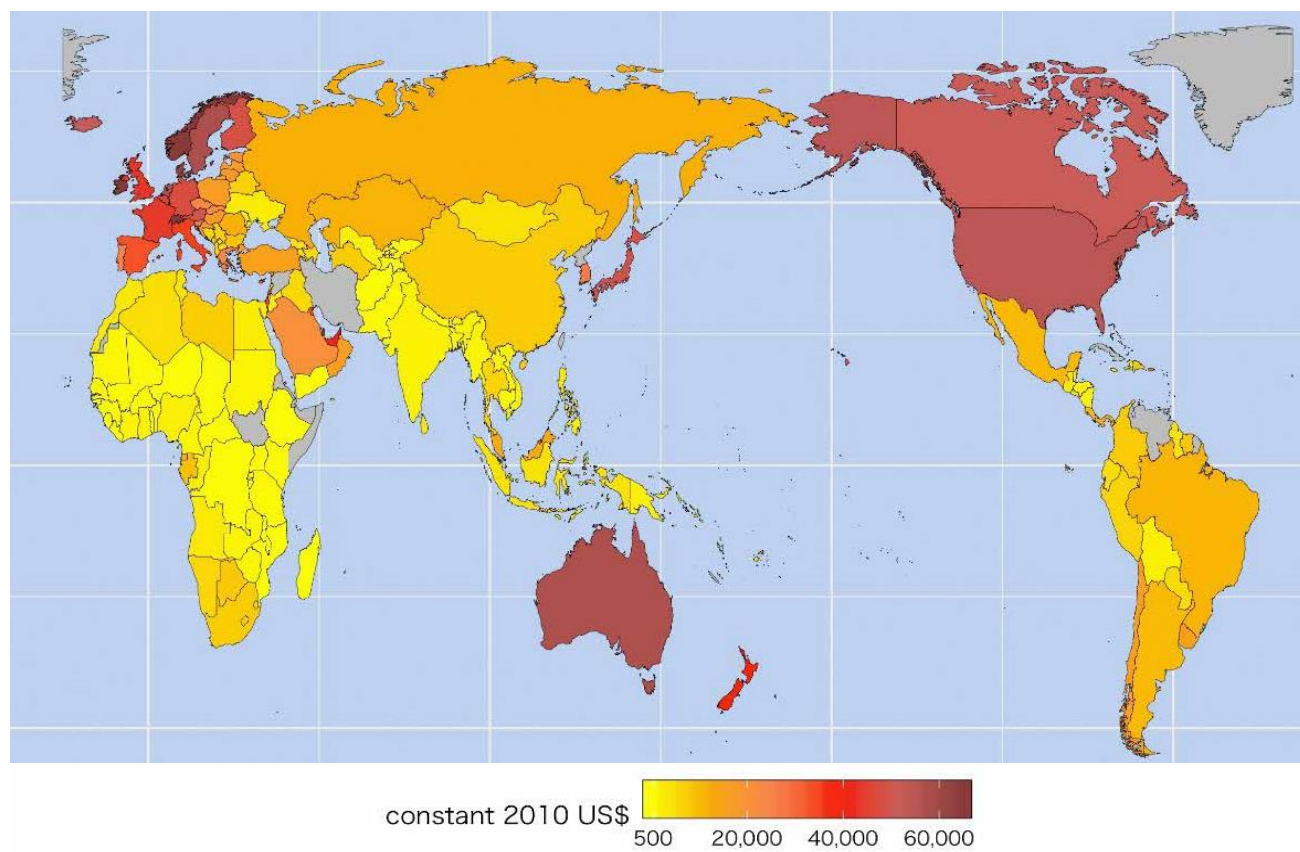
仮説

世界史 A 授業プリント 【資料編】

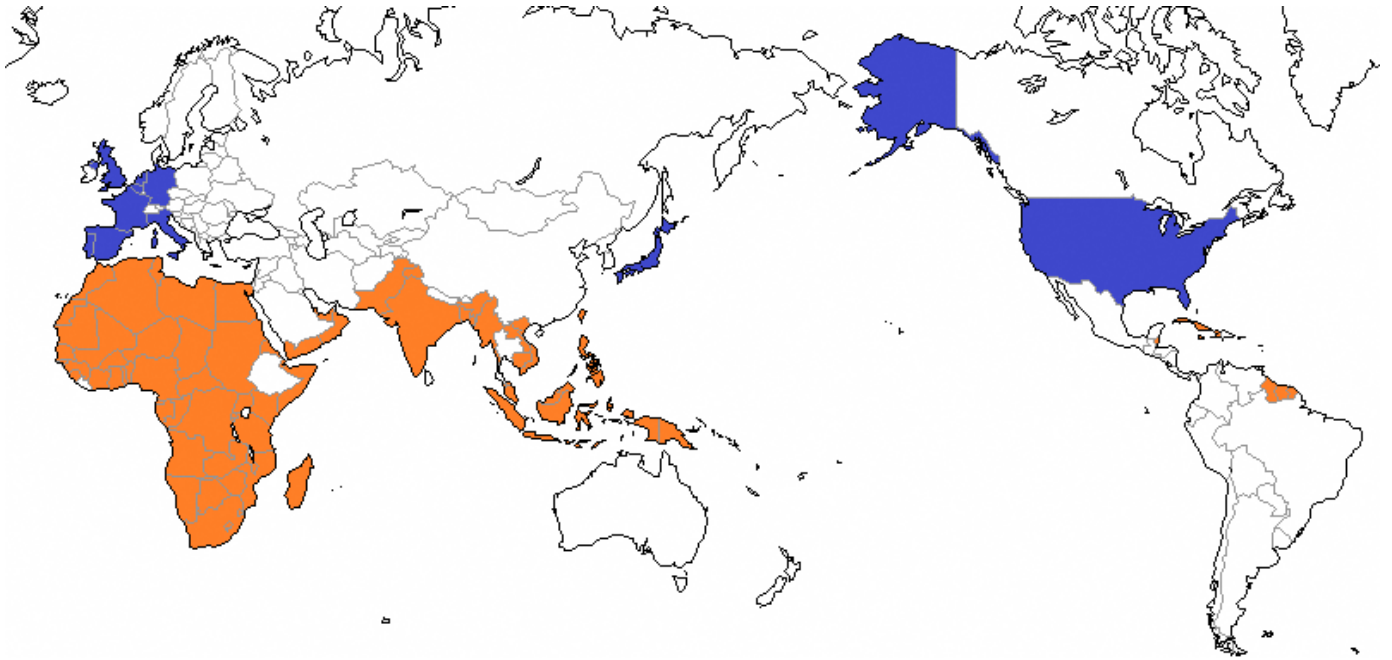
【資料 A】 2021 年 10 月 1 日時点でのある状況を示した地図



【資料 B】 1 人あたり GDP (2018)

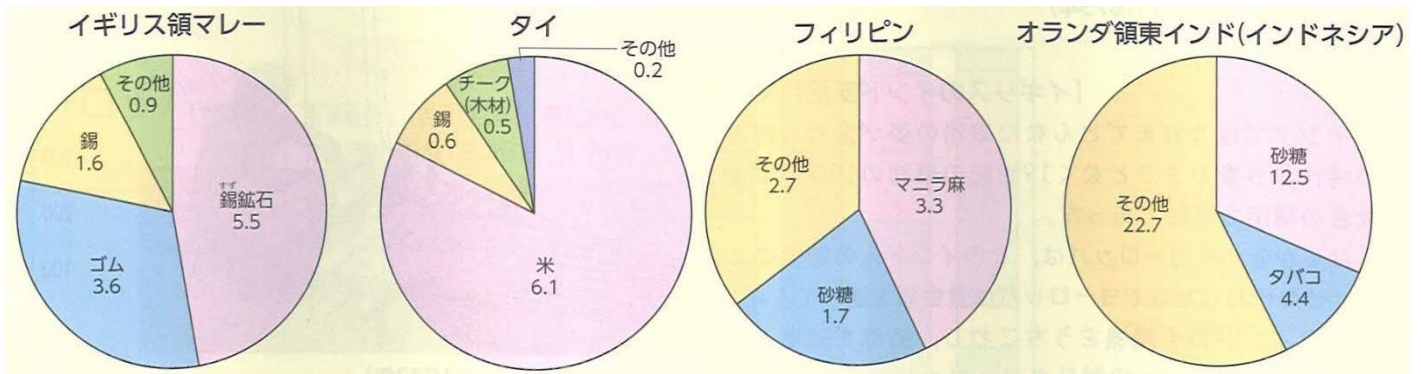


【資料 C】 1902 年時点でのある状況を示した地図



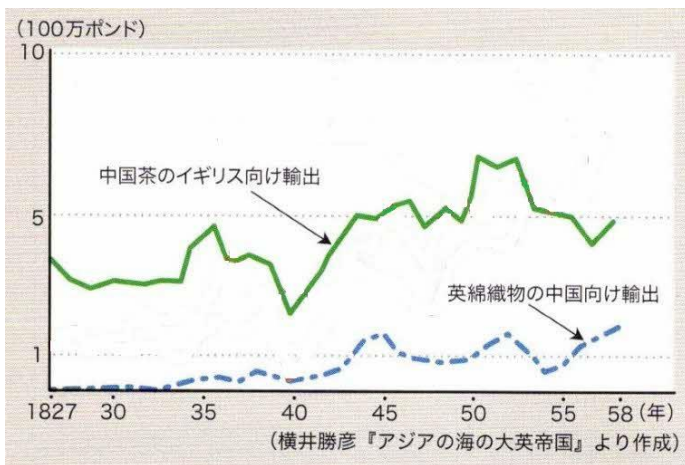
※青… している国、オレンジ… されている国

【資料①】ヨーロッパにおける植民地後の主要輸出品(1909年～11年平均)



単位：100万ポンド

【資料②】『イギリスの対中国貿易の推移のグラフ』および第2次アヘン戦争時のイギリス首相のコメント



「本国産業界のために海外で市場を確保するのは政府の使命である」
(第2次アヘン戦争時の首相(アヘン戦争時の外務大臣)のコメント)

【資料③】1842年の南京条約の条文

- 第2条 広州・福州・廈門・寧波・上海を開港し、この5港にイギリスの領事を駐在させること。
- 第3条 香港島をイギリスに割譲すること。
- 第4条 没収したアヘンの賠償金として2100万銀ドルを支払うこと。
- 第5条 公行(特権商人の組合)を廃止すること。

(一部要約)

【資料④】1898年、清の政治家が皇帝に提出した文書

大から小になったのはトルコで、強から弱になったのはペルシアで、存から亡になったのはインド・ビルマ・ベトナム……です。いずれも保守的で変化がなく、君主がひとり威張っていて民と隔絶していた国なのです。亡から存になったのはシャム(現タイ)で、小から大になったのはロシアで、弱から強になったのは日本です。いずれも新しい制度に改め、君主が民と交流している国です。そのうち効果をもっとも早く、文明が最も備わっていて、我が国ともっとも近いのは、まさに日本です。

康有為『日本変政考』序、1898年

康有為…清末の政治家、学者。日清戦争の敗北、列強による中国分割という危機に直面し、1898年時の皇帝に政治と社会の革新の必要を建言し、その意見が採用されることになった。